

児童労働問題を 考えるための手引き



国際労働機関 (ILO) 駐日事務所



もくじ

- P2 **テーマ 1** 児童労働って何ですか？
- P4 **テーマ 2** なくさなければいけない児童労働とは何でしょうか？
- P6 **テーマ 3** 児童労働はなぜいけないの？
- P7 **テーマ 4** 世界のどこで起きているの？
- P9 **テーマ 5** 日本に関係があるのはどうして？
- P11 **テーマ 6** 児童労働をなくすためには
- P14 **テーマ 7** 日本の子どもにできること



テーマ 1

児童労働って何ですか？



児童労働^{*1}とは

子どもたちから子ども時代を奪う労働とされています。

子どもが遊びではなく働くことを強いられただうなるでしょうか。ちょっとしたことで笑ったり、好奇心と創造力をもって学んだりする経験ができなくなってしまう。また、ひとりの人間として自分を大切に、まわりからも大事にされる機会を失ってしまうかもしれません。自分の居場所について理解を深めることもできなくなってしまう。



SDGs（エスディージーズ、Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標）

も児童労働をなくすことを目標の一つに定めています。

- SDGs^{*2}について知っていますか？世界中の国連加盟国がみんなで決めた2030年までの国際的な目標です。
- 経済・社会・環境についていろいろな目標がある中で、開発目標8として「ディーセント・ワーク^{*3}（働きがいのある人間らしい仕事）をすべての人に」が、かかげられています。



児童労働をなくす世界的な運動に、日本からも参加することが出来ます。

- このパンフレットを使って児童労働を考える授業もその運動の一つです。これは音楽活動を通して児童労働を撲滅する Music against Child Labour Initiative^{*4} という世界的な動きにつながっています。

「子ども(18歳未満)が働くこと = 児童労働」ではありません！

Q1 児童労働ではないものはどれですか？

- 01 小学生が家で 02 中学生が 03 高校生が戦場で
ご飯の準備を手伝う 自動車工場ではたらく 兵士として使われる

Q2 これは児童労働ですか？

- 01 モシ君は、まだ義務教育を終えていない12歳です。お母さんの畑仕事を時々手伝っていましたが、お母さんが病気になったので、お母さんの代わりに朝早くから夜遅くまで、毎日働き始めました。学校に戻るかどうか分かりません。
- 02 アマラさんは16歳です。カカオ農園で雇われている季節労働者の両親と暮らしています。親を手伝い、大きなナタを使ってカカオの実を収穫したり、実が入った重い袋を運んだりしています。近くで農薬を散布されると、目や肌がチクチクします。

クイズの正解は P5 !



皆さんはおうちでお手伝いをしていますか？ 児童労働がいけないなら、お手伝いも悪いことでしょうか？

児童労働と、おうちのお手伝いは違います。

児童労働は、学校にも行けない、遊ぶ時間も休む時間もないほどのつらい「仕事」のことです。

世界中にはそんなふうに「働いて」いる子どもが、日本の総人口よりも多い1億6千万人もいます。それを何とかしようというのが、児童労働をなくす動きです。

テーマ 2

なくさなければいけない 児童労働とは何でしょうか？

世界中の国が集まって国際労働基準^{*5}を決めました。

雇用最低年齢（日本では15歳未満）つまり義務教育年齢の、
年が若すぎる子どもの仕事

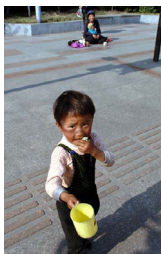
（例外はいくつかあり、例えば13歳からの軽微な仕事、子役）



優先的になくすべき「最悪の形態の児童労働」

といわれるもの

- 18歳未満の危険有害な仕事（子どもの体や心に悪いこと、けがの原因となる危ないこと。何が危険で有害か詳しいことは、それぞれの国が決めてはなりませんが、長い時間や深夜に働くことも入ります）と、そのほかに次のような犯罪といえる内容も含みます。
- 人身取引、債務奴隷^{*6}、子ども兵士など、「強制労働」といわれるもの
- 子ども買春・ポルノなど「性的搾取」^{*6}といわれるもの
- 犯罪の手先（特殊詐欺の「受け子」^{*6}、麻薬などの運び屋など）や物乞いに使われること



覚えておいてほしいこと



日本の雇用最低年齢（働いてもよい年）は15歳です。
中学校を卒業したら働くこともできます。

でも18歳になっていないうちは危険有害業務などの
「最悪の形態の児童労働」から守られなくてはなりません。



子どもが自分の家で家事を手伝うことは、当たり前です。
年齢にあった中身や時間の長さならば、児童労働ではありません。

でも教育に差し支えるほどの家事や安全・健康の妨げになることは児童労働と考えて、やめるべきです。

P3のクイズの正解

Q1：01です。子どもの健全な発育を妨げず、学業の支障にならない軽い家事労働は児童労働ではありません。

Q2：どちらも児童労働です。働くために学校に行けなくなったり、体に悪い仕事をしたりしているからです。

児童労働はなぜいけないの？

子どもの健やかな 成長を妨げます。

教育を受ける権利や健康安全に
育つ権利などさまざまな
子どもの権利を奪います。



子どもが安上がりな労働力
として使われてしまい、
大人の賃金にも影響し、

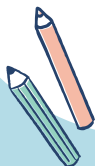
**ディーセント・ワークが
広がらなくなって
しまいます。**



教育が十分に受けられないと

**仕事につくのが
難しくなります。**

社会の中で貧困の連鎖もおこります。



**長い目で見て
国や地域の成長の
妨げとなります。**

日本でもILOができたころ、児童労働
は当たり前のようにありました。^{*7} その
後義務教育に力を入れたおかげで、
今では児童労働はほとんど
見られなくなりました。



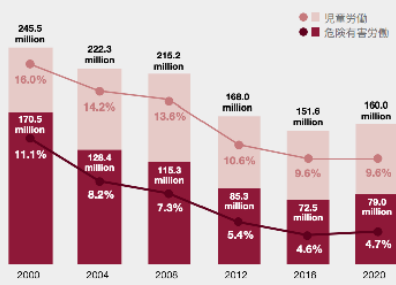
世界のどこで起きているの？

世界中では1億6千万人（日本の総人口より多い！）の子どもたちが児童労働についています。これは世界中の子どものうち、10人に1人です。その内およそ半分の7900万人は特に危険有害な仕事をしています。^{*8}

最近4年間では、ILOが20年前に推計を発表し始めてから初めて総数が増えてしまいました。（4年前に比べ800万人の増加）

児童労働撲滅に向けた世界の歩みは2016年以降に失速

児童労働と危険有害労働に従事する子ども（5～17歳）の数と割合

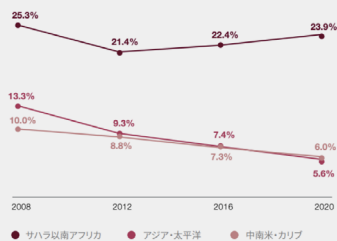


新型コロナウイルス感染症の流行が始まる直前に調べたデータです。コロナ禍による貧困の影響で、児童労働は2022年末までにさらに890万人増加する可能性があります。予測される増加分の半数以上は、5歳から11歳までの低年齢の子どもが占めています。

途上国、特にサハラ砂漠より南のアフリカに多く、中進国や先進国にもあり、日本にもあります。

アジア・太平洋地域とラテンアメリカ・カリブ地域で児童労働撲滅に向けた継続的な進展、サハラ以南のアフリカでは同様の進展は見られず

児童労働に従事する子ども(5〜17歳)の地域別割合



備考: 図はILOの報告に使用される地域グループを示しています。2016年以前の比較可能な過去データは、他の地域では入手できませんでした。

・現在、サハラ以南のアフリカで児童労働に従事する子どもの数は、世界の他の地域を合わせた数よりも多くなっています。

・アジア太平洋地域とラテンアメリカ・カリブ地域では、児童労働は減少し続けています。

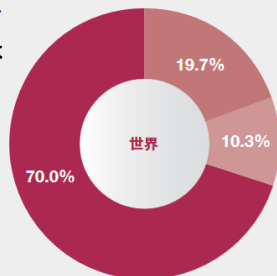
地域によって違うものの、児童労働は農業部門に多くみられます。

■ 世界全体では
児童労働の70%は農業です。

世界的に児童労働に従事している子どもは農業分野が最も多い

児童労働に従事する子ども(5〜17歳)の産業別割合

■ 農業
■ サービス業
■ 工業



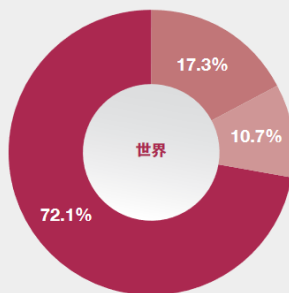
■ 3分の2以上は家族の中で働いています。

農家だけでなく家族のする商売や家の中で物を作ること(内職)に加わる子もいます。

児童労働に従事している子どもの大部分は家庭内労働

児童労働に従事する子ども(5〜17歳)の就業状況別割合

■ 家庭内労働に従事
■ 被雇用者
■ 独立型労働者



備考: 小数点第2位以下切り捨てのため、合計は必ずしも100%とはならない。

日本に関係があるのはどうして？

.....



「サプライチェーン（供給網）」は国を越えて広がっています。日本の消費者が手にするものの中には、児童労働で作られたものが入っていることがあります。

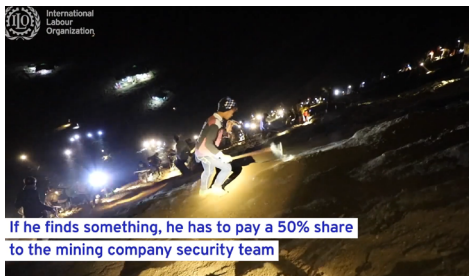
（たとえばチョコレート、コットン、スマホの中のレアメタル…）



周りの人は「子どもが手伝うのは当たり前」と思っているかもしれませんが。でも、農業が体に悪いことや刃物が危ないことは、家族が隣にいても同じです。周りの大人も体に悪い働き方をしていることが多いでしょう。

- 現在、何千万もの家族経営の農家や農場が、児童労働に頼っています。これは、多くの国の社会経済や世界のモノの流れのしくみの問題です。

ミャンマーでくずヒスイ拾いをするミンミン君の例



児童労働は、世界中どここの地域にもあります。^{*9}



https://www.ilo.org/tokyo/areas-of-work/child-labour/WCMS_769022/lang--ja/index.htm



日本にもあるけれど、数が少なくて目立たないだけかもしれません。場合によって、高校生の深夜・危険有害バイト、ヤングケアラー^{*10}、いわゆる「JK ビジネス」等



テーマ 6

児童労働をなくすためには

.....

児童労働を消す魔法のスイッチはありません。

いろいろなやり方を組み合わせる必要があります。*11



法令で禁止する、
違反者（子どもを働かせている人）
を罰する。

でも、子どもが家族の中で働いているときは、働かせなくては生活していけない親や家族を罰しても、もっと困るだけかもしれません。



大人や働ける
年齢の若い人が
ディーセント・ワークに
ついて、子どもを
働かせなくとも
暮らせるようにする。

無償で質の良い
義務教育を子どもたちに
差別なく保証する。

学校が無料なだけでは十分ではありません。教科書や制服など必要なものを買うお金がなくて、貧しい子供が教育をあきらめる場合があります。教育にかかるお金を稼ぐために子どもが働かなければいけないとしたら、本末転倒です。



病気やけが、
失業などのとき、
子どもを働かせないで
済むよう、公的な援助や保険
（社会的保護）を整備する。



環境を守り、
災害や紛争を防ぐことで、
児童労働のきっかけを減らす。



子供の権利を 大事にする。*¹²

子どもが児童労働から守られることもその一つです。
教育を受ける権利や健康に育つ権利などと同じく、
世界中の子どもが持っています。
もちろん日本の子どもたちにも
当てはまります。



世界の児童労働を
なくすために活動して
いる日本人や日本の
組織もあります。

「世界の未来を担う子どもたちが過酷な労働にその貴重な子ども時代を浪費するのではなく、学校での勉強や課外活動などを通じて、一人ひとりの無限の可能性を伸ばしていけるよう環境を整えていくことこそが、世界の安定した発展と平和につながっていく」こう語るのは ILO アフリカ地域総局に勤務し、ACCEL アフリカ児童労働撲滅プロジェクト責任者の小笠原稔さんです。

※¹³



<https://blog.unic.or.jp/entry/2019/06/11/095115>

日本の NGO である ACE の取り組みもあります。*

¹⁴

日本の子どもにできること



もっと知る、調べる。

- この手引きのリンク先やインターネットでいろいろな情報を見つけてみましょう。
- 児童労働すごろく日本語版で、遊んでみる。



周りの人に話す。

- 家族や友達と児童労働について話してみる。
- その中に高校生がいたら、児童労働は小さい子どもだけではなく 18 歳未満の人にも関係がある（例えば、「危険なバイトはダメ」）と教えてあげる。
- もしも周りに学校を休みがちな子がいたら、どうしたのか気にかけてみる。



発信する、具体的に行動する。

- チョコレートやコットンTシャツなどの物を買うときに、それがどこでどんな人によって作られたものなのか、聞いてみる。「児童労働のないところで作りました」というものがあれば、そちらを選ぶ。「エシカル消費」—児童労働問題だけでなく、消費者がサプライチェーンでの人の働き方に気をつけると、企業も何かしようとするでしょう。
- 児童労働をなくすためのイベントに参加してみる。毎年 6 月 12 日は児童労働撤廃世界デーなので、世界中でいろいろな催しがあります。それ以外の時でも気を付けていると、見つかるでしょう。
- 児童労働はおかしい、やめなくてはいい、ということを絵や文や歌などいろんなやり方で表してみる。

。15

今すぐできること以外にも、児童労働の知識を心のどこかに留めておいてください。

大人になって仕事をするようになった時に、児童労働をなくし、自分も他の人もディーセント・ワークにつけるように力を貸してください。



さらに詳しく

1 https://www.ilo.org/tokyo/areas-of-work/child-labour/WCMS_799628/lang--ja/index.htm

2 SDGs について

ILO Tokyo > ILO と持続可能な開発目標 (SDGs)

https://www.ilo.org/tokyo/WCMS_411160/lang--ja/index.htm

UN page

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

ILO page on 8.7 (英語)

<https://www.ilo.org/global/topics/sdg-2030/goal-8/target-8-7/lang--en/index.htm>

3 「ディーセント・ワーク」って何ですか？

「働きがいのある人間らしい仕事」のことで、まず仕事があることが基本ですが、その仕事は、権利、社会保障、社会対話が確保されていて、自由と平等が保障され、働く人や家族の生活が安定する、すなわち、人間としての尊厳を保てる生産的な仕事のことで。

子どもに児童労働をさせないと生活が成り立たないような（大人の）働き方はディーセント・ワークとは言えません。

<https://www.ilo.org/tokyo/about-ilo/decent-work/lang--ja/index.htm>

4 荻野目洋子さんのメッセージと記者発表

https://www.ilo.org/tokyo/information/pr/WCMS_839407/lang--ja/index.htm

https://www.ilo.org/tokyo/information/pr/WCMS_831475/lang--ja/index.htm

世界キャンペーン

https://www.ilo.org/tokyo/areas-of-work/child-labour/WCMS_769031/lang--ja/index.htm

Music against child labour (英語)

<https://www.ilo.org/ipecc/Campaignandadvocacy/MusicInitiative/lang--en/index.htm>

5 国際労働基準のページ

<https://www.ilo.org/tokyo/standards/lang--ja/index.htm>

児童労働について詳しいことはILOの国際労働基準（最低年齢に関する138号条約・最悪の形態の児童労働に関する182号条約）など、政府間の条約や勧告という文書で定義され、それに合わせて各国の法律や規則が定められることになっています。日本を含め138・182号の両条約を批准した国々は、児童労働をなくすために努力することを正式に約束しているわけです。

特に182号条約は、世界中のILO加盟国全部が批准しました。

これは100年以上のILOの歴史で、初めてのことです。

条約の日本語訳はこちらです。

1973年の最低年齢条約（第138号）

https://www.ilo.org/tokyo/standards/list-of-conventions/WCMS_239041/lang--ja/index.htm

1999年の最悪の形態の児童労働条約（第182号）

https://www.ilo.org/tokyo/standards/list-of-conventions/WCMS_238996/lang--ja/index.htm

6 言葉の説明

＊ 債務奴隷 — 借金をして（親などから受け継ぐこともあります）それをお金で返す代わりに人間を差し出して、その労働で返していく状態で、その人は働かない自由が無く、逃げ出すこともできません。

子どもだけでなく、大人でもありうるし、なくさなくてはなりません。

＊ 性的搾取 — 18歳未満の子どもの体の水着で隠れる部分を触ったり、写真やビデオに撮ったり、インターネットで見えるようにしたりするようなこと。日本では、「児童買春ポルノ処罰法」という法律が禁止しています。いわゆる「JKビジネス」でも、お金と引き換えに性的なことをされる場合があります。

＊ 特殊詐欺など犯罪の手先に使われる — たとえば人をだましてお金を巻き上げようとするときに、「いいバイトがあるよ」と言って子どもを手先にして現金やカードを受け取らせるなど、いろいろなやり方で犯罪者自身は後ろに隠れ、子どもや若い人を使い捨てにすることがあります。

7 【トリビア】日本でも昔は児童労働がよくあることだったのです！

ILO という国際機関は 1919 年（大正 8 年）— 今から 100 年少し前にできました。その第 1 回の会議で工業で働くための最低年齢を決めた第 5 号条約を作ったのですが、そのとき「日本とインドには例外を認める」（少しだけ児童労働をさせてもよい）という条文が入りました。まだ途上国だし、子どもが働くのが当たり前の文化なので、というような政府の言い訳が許されたいです。日本はこの第 5 号条約を批准したので、2001 年に日本がもっと新しい第 138 号条約を批准するまで形の上では有効でした。条約の文面（日本の特別扱い第 5 条）は今でもこちらで見ることができます。

https://www.ilo.org/tokyo/standards/list-of-conventions/WCMS_239174/lang--ja/index.htm

国の名前を挙げて例外を認めるやり方は、その後の国際労働基準では使われなくなりました。でも、児童労働はその時あたりまえとされていて、なくすことができるという良い例です。児童労働がなくなった後で生まれた子どもたちが、えっホント？と感じることになる国々がもっと増えてほしいです。

8 最新報告書『児童労働：2020 年の世界推計、動向、前途』5 つのポイント

https://www.ilo.org/tokyo/areas-of-work/child-labour/WCMS_802422/lang--ja/index.htm

9 世界中のいろいろな地域の児童労働の例です。

インドの児童労働に関する 5 つの事実

https://www.ilo.org/tokyo/areas-of-work/child-labour/WCMS_794029/lang--ja/index.htm

ラテンアメリカ・カリブ地域の児童労働に関する 5 つの事実

https://www.ilo.org/tokyo/areas-of-work/child-labour/WCMS_794433/lang--ja/index.htm

年少者の児童労働が撤廃されたモロッコ、今 COVID-19 の危機が迫る

https://www.ilo.org/tokyo/areas-of-work/child-labour/WCMS_794425/lang--ja/index.htm

10 「ヤングケアラー」は児童労働にあたりますか？— 年齢や子どもがしていることと時間の長さ、学校に行けるかなどによります。でも 18 歳を過ぎて、児童労働とは言われなくなったとしても、困っている人はいるでしょう。介護や看護を家族だけがしなくてはいけないか、誰かが助けてくれる仕組みがないか、考える必要があります。

11 児童労働の起きてしまっているそれぞれの国や地域で、やる気を出して、いろいろな手立てを尽くす必要がありますが、そういう国は経済が苦しくて、お金や手段がないことが多いのです。

そういう時、余裕のある国や国際機関、民間のいろいろな組織・団体が、手助けのためにお金を出したり、プロジェクトという実際の手伝いをしたりしています。

12 子どもの権利条約について知りたい人はこちらを

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/kenri/>

13 ILO アフリカ地域総局の小笠原稔さんの仕事ぶりが紹介されています。

<https://www.unic.or.jp/files/dlun99.pdf> (リンク先の5ページ目を見てください。)

ACCEL アフリカプロジェクトの説明

https://www.ilo.org/tokyo/information/pr/WCMS_709793/lang--ja/index.htm

リレーエッセイ

https://blog.unic.or.jp/entry/2019/06/11/095115_

14 ガーナでの日本の NGO 「ACE (エース)」の活躍についてはこちら

https://www.huffingtonpost.jp/entry/storyjp_623c5bc2e4b046c938e61a32

世界の子どもを児童労働から守る NGO 「ACE (エース)」についてもっと知りたい方は

<https://acejapan.org/>

15 SCREAM Supporting Children's Rights through Education, the Arts and the Media
「教育、アート、メディアを使って子どもの権利を支えよう！」というプロジェクト (英語)

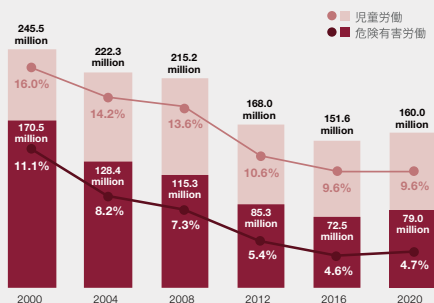
<https://www.ilo.org/ipec/Campaignandadvocacy/Scream/lang--en/index.htm>

ひと目で分かる児童労働

動向

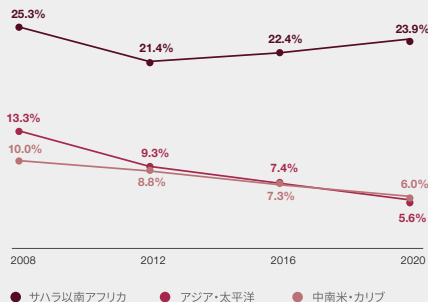
児童労働撲滅に向けた世界の歩みは2016年以降に失速

児童労働と危険有害労働に従事する子ども（5～17歳）の数と割合



アジア・太平洋地域とラテンアメリカ・カリブ地域で児童労働撲滅に向けた継続的な進展、サハラ以南のアフリカでは同様の進展は見られず

児童労働に従事する子ども（5～17歳）の地域別割合

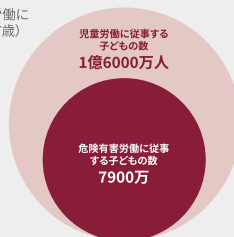


備考：国はILOの報告に使用される地域グループを示しています。2016年以前の比較可能な過去データは、他の地域では入手できませんでした。

現状

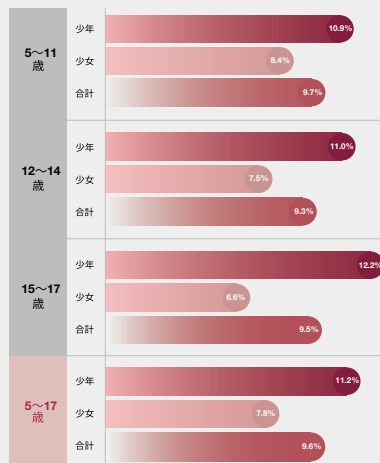
世界中で1億6000万人の子どもが児童労働、7900万人は危険有害労働に従事

児童労働と危険有害労働に従事する子ども（5～17歳）の数



すべての年齢でも少女よりも少年の方が多く児童労働に従事

児童労働に従事する子ども（5～17歳）の年齢別・性別割合



私たちは児童労働をなくすことを子どもたちに約束しました

児童労働に従事する子どもの数と割合が最も多い地域はサハラ以南アフリカ

児童労働に従事する子ども(5～17歳)の地域別数と割合

備考：円の大きさは、児童労働に従事している子どもの絶対数に比例します。図は、SDGsの報告に用いられる地域グループを示しています。オセアニア地域は、データのカバー率が低いため省略しています。そのため、地域別の数値は世界全体の数値とは一致しません。

サハラ以南アフリカ



中央・南アジア



東・東南アジア



北アフリカ・西アジア



中南米・カリブ



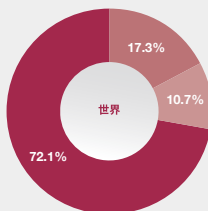
欧州・北米



児童労働に従事している子どもの大部分は家庭内労働

児童労働に従事する子ども(5～17歳)の就業状況別割合

- 家庭内労働に従事
- 被雇用者
- 独立型労働者

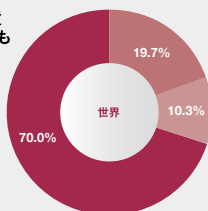


備考：四捨五入により、パーセント表示の合計は100%になりません。

世界的に農業分野で児童労働に従事している子どもが最も多い

児童労働に従事する子ども(5～17歳)の産業別割合

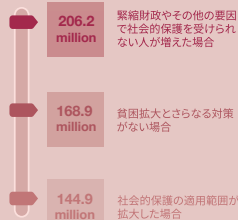
- 農業
- サービス業
- 工業



COVID-19のインパクト

対策を講じなければ、児童労働に従事する子どもの数は1億6000万人(2020年)から2022年末までに1億6890万人に増加するリスクがある

2022年末までに児童労働に従事する子ども(5～17歳)の予測数



© UNICEF/UN1274880/Saumila

一刻の猶予もありません

memo

memo

memo

監修：野口好恵

レイアウト：株式会社 yucca